

シリコンライブラリ社が CDC 研究所のクラウドベース環境 でアベラント社の Solidify 自動チェック機能を適用

米国カリフォルニア州オークランド、東京（2018年2月15日）

デジタル設計における先進の検証技術を提供するアベラント社と、クラウドベースの設計プラットフォームを提供する株式会社 CDC 研究所（以下、CDC 研究所）は本日、シリコンライブラリ株式会社（以下シリコンライブラリ）が設計における検証フローにアベラント社の Solidify 自動チェック機能を採用したことを発表しました。

「設計フローにおいて複雑なデザインの検証は、非常に重要なステップです。」とシリコンライブラリ 代表取締役 清水潤三氏は述べています。「Solidify の自動チェック機能を利用することにより、設計の早い段階で問題検出ができ、検証にかかる時間を大幅に短縮することができました。また、CDC 研究所のクラウドサービスにより、最適なコストで開発を実施することができるようになりました。」

Solidify の自動チェック機能は、形式検証技術を使って設計における問題点を発見できます。バージョン 6.5 では新たに Clock Domain Crossing シグナルに対する強力なレポート機能を搭載しています。

アベラントの一連の形式検証ソリューションは、柔軟でかつコスト面でもメリットのある、CDC 研究所のクラウドベースの設計プラットフォーム上で利用可能です。

「我々の目的は、クラウドベース設計ソリューションとして LSI 設計の全工程を提供することにあります。」と CDC 研究所 代表取締役の井上善雄氏は述べています。「実績あるアベラント社の形式検証ツールをクラウドプラットフォーム上でお客様に提供することができ、非常に喜ばしく思っています。」

「自動チェック機能、とりわけ Clock Domain Crossing のチェックは、市販の形式検証ツールにとって非常に重要な機能になります。」とアベラント社 社長の Ramin Hojati 氏は述べています。「またシリコンライブラリ様へのサポートを通じて、私共にとっては Clock Domain Crossing 機能の重要な改善をすることができましたことを、ここに深く感謝申し上げます。」

可用性

Solidify v6.5 は、現在すでにご利用いただくことができます。

アベラント社について

アベラント社は、デジタル設計向け形式検証の分野に特化したプライベート会社です。アベラントの基幹プロダクトは、シミュレーションやテストベクタを不要とする、プロパティ、プロトコル、自動チェック機能を提供する Solidify です。アベラントのツールは既存設計フローにも容易に適用することができ、設計品質の向上、リスクの低減とともに、設計 TAT も大幅に短縮することが可能です。

詳細につきましては、アベラント社 Web ページ <http://www.averant.com> をご参照ください。

CDC 研究所について

CDC 研究所は、クラウド技術を用いて、プロジェクトベース設計環境を開発・提供している会社です。EDA ツール、仮想マシンを時間単価で利用できます。テレワーク、スキルシェアなどシェアリングエコノミー環境を LSI・電子機器設計開発の現場に広めるよう努めています。

詳細につきましては、CDC 研究所 Web ページ <https://www.cdc-lab.com> をご参照ください。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

株式会社 CDC 研究所 事務局

info@cdc-lab.com

スタビリティ株式会社（国内販売代理店）

加藤俊之

tkato@stability.jp

アベラント社

Ramin Hojati

rhojati@averant.com